



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年4月会報 第376号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: YMCA サービスと ASF
 YMCA との協働は自ら積極的に参加することです。
 お互いに理解しあい目標を共有しましょう。
 荒川恭次 Y・サユース事業主任(名古屋グランパス)

新型コロナウイルスにより休会

2020年4月例会

日 時 : 2020年4月8日(水)18:30

場 所 : 宝塚市立西公民館パーティールーム

会 費 : 1,500円

ドライバー 石田由美子 今田和子

開会点鐘 多胡葉子会長

ワイズソング 全員

聖書朗読 小林康男

祈 禱 吉田 明

ゲスト・ビジター紹介

会 食

お話し 「YMCA とワイズ」

—ウエルネスから—

神戸西クラブ 柳 敏晴 ワイズ

YMCA 報告

誕生日のお祝い クラブ会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 多胡葉子会長

2019~2020 役員	会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子 副会長 石田 由美子 書記 若林 成幸 会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明 会計監査 加藤 光信 今田 和子 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 六甲部地域・環境主査 青柳 美知子																																				
誕生日	3月 福田素子(2日) 吉田 明(4日) 加藤光信(12日) 4月 なし																																				
(休会) 3 月 実 績	<table border="1"> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>出席会員数</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>コメント・孫コメント</td> <td>0名、</td> </tr> <tr> <td>ゲスト・ビジター</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>例会充足率</td> <td>0%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>BFポイント</td> <td>3月</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>25,716円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>0月</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>ファンド(物品販売)</td> <td></td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>32,300円</td> </tr> </table>	例会出席者数	0名	在籍会員数	21名	出席会員数	0名	出席率	0%	メイクアップ(内数)	0名	メネット	0名	コメント・孫コメント	0名、	ゲスト・ビジター	0名	例会充足率	0%	BFポイント	3月	0円		累 計	25,716円	にこにこBOX	0月	0円		累 計	45,000円	ファンド(物品販売)		0円		累 計	32,300円
例会出席者数	0名																																				
在籍会員数	21名																																				
出席会員数	0名																																				
出席率	0%																																				
メイクアップ(内数)	0名																																				
メネット	0名																																				
コメント・孫コメント	0名、																																				
ゲスト・ビジター	0名																																				
例会充足率	0%																																				
BFポイント	3月	0円																																			
	累 計	25,716円																																			
にこにこBOX	0月	0円																																			
	累 計	45,000円																																			
ファンド(物品販売)		0円																																			
	累 計	32,300円																																			

聖句

イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、
「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。
(マルコ福音書 1:41-42)

随想

いま新型コロナウイルスの感染が世界各地に拡散し、WHO がパンデミックを宣言する事態となっています。致死率は低いと言っても、高齢者や基礎疾患のある人にとっては重大なリスクであることに変わりはありません。学校でも様々な行事が中止や延期となり、新年度もどうなるか予断を許さない状況です。

そんな中、日本以上に感染者が出ているイタリア・ミラノで先日、ある理数系高校の校長先生の生徒たちに送った手記が注目されていました。ペスト禍の人々を描いた古典を引用し、こうした時にしばしば起こるリスクは、パニックによって「自分たちと同じ人間を脅威や潜在的攻撃者と見なすようになることだ」と戒めています。

そして、そうならないため理性ある思考で予防対策をしながら日常の生活を続け、この機会にい本を読んで下さいと勧められています。

高校生のみならず今日全ての人が聞くべき言葉として共感を集めていました。病気は、病気それ自体はもとより、その病気に罹った人間を実際以上に何か恐ろしいもの、汚れたもののように思わせてしてしまうことに問題があります。以前、熊本の国立ハンセン病療養施設「菊池恵楓園」入所者で菊池黎明教会牧師であった太田國男先生は看護学生に向かって、「人は科学的知識なしには差別や偏見を完全に克服することはできません。だから、しっかりと勉強してください」と訴えておられました。人がたとえ信仰をもっている、科学的知識なしに偏見を克服できないのは、ハンセン病やエイズ等の歴史を見れば明らかです。差別や偏見を排して、人間を同じ人間として見るためには、科学的態度が不可欠なのです。

イエスがこの患者を「深く憐れんで、手を伸ばしてその人に触れ」たのは、同じ人間としての共感にはらわたを突き動かされたからに違いありません。これこそが人間として一番大切なあり方でしょう。

しかし今日感染症患者に直接接触するのはもちろん真似してはいけない行為です。しっかりと科学的根拠に基づいた感染予防の対策をしなければなりません。でも私たちは、この感染防備を固めるという科学的態度によってこそ、イエスのように、患者を見捨てず人間として直接向き合うことが出来る、とも言えるでしょう。

聖書には科学的知識を持って、とは書いてありませんが、今日イエスのあり方とその業を引き継ごうとする限り、科学的態度は不可欠だ、ということになると思います。

金田 俊郎

3月第1例会報告

3月例会の中止に至って

会長 多胡葉子

新型コロナウイルスが中国の武漢で発症。あれよあれよと言う間に日本に上陸。そして各地域で患者の発生。それに伴い、イベント、諸集会の中止、及び自粛の通達が。私たち宝塚クラブは3月は例会ともう一つ3・11 震災支援プログラムの「揚がれ！希望の凧！」のプログラムを実施するべく準備していた。

3月3日には武田邸で有志で凧制作をして用意。その場でも例会の中止は考えずに実行しましょうと確認していた。

今回の3月の例会は特別な例会になるはずであった。長年例会場として使用させていただいた宝塚ホテルが新館への移行のために3月末をもってクローズとなる。そのために思い出のあるホテルでの最後の例会となるためにメンバーを上回る人数の40名を超える参加申し込みがあった。また、スピーカーとしての的を得たような方、長年中国でパナソニックの企業マンとしてグローバルに国際貢献をされていた青木俊郎氏をお願いしていた。日が経つにつれ感染者が増えていく日々。そして私たちワイズの母体である神戸 YMCA からも諸活動及び諸集会の中止、および自粛の通達が入って来た。

3月6日に役員の方々に集まってお話しいただき再度開催か中止かを決定する協議を行った。諸情勢をしっかりと受け止めると中止の決断をせざるを得ない結果となった。すぐにメンバーにメーリングでそしてスピーカーの青木先生、参加を予定して下さっていたゲストの方々にもメールで3月例会中止のお知らせを流した。「楽しみにしていたのでとても残念です」「多くの思い出のあるホテルでの最後の例会ということで一層残念」「この情勢ゆえに残念ですがいい決断をされた」などなどのお言葉を頂戴した。思いも掛けない試練が与えられた3月の例会の中止という選択。グループ活動をしている私たちの立場として、個人的な思いだけで判断するのではなく、正しい情報を得て小さな協力もこの非常事態を乗り越えるには必要とメンバーの方々とともにこの中止という判断の選択をした。こうして3月の例会は残念な思い出に残るクラブ運営の一コマとなった。

4月からは私たちクラブの例会は宝塚市立西公民館が例会場となる。これまでと同じように楽しい交流と研鑽のクラブ運営を心がけていきたいとみなさまのご協力よろしく申し上げます。

3月第2例会報告

コロナウィルス感染防止のため公民館が休館、3月第2例会は3月25日17時から宝塚ホテルのレストラン・ソラリスで行った。多胡会長・加藤・石田・今田・武田・長尾・小林夫妻・若林夫妻の10名が出席し、今月末で閉館のホテルでの最後の食事会を楽しんだ。



議事要旨は次の通り。

1) 新型コロナウイルス対応のクラブ運営

- a. 公民館が使用できない場合は例会を中止または延期とし、詳細は役員で協議して通知する。
- b. 実施の際は「換気・消毒・座席配置」などクラスター発生リスクを回避する工夫を施す。
- c. 健康不安の方の欠席に配慮する。

2) 4月例会⇒公民館閉館につき休会を決定。

- ・ 4月8日(水)18:30 西公民館パーティー室
- ・ ゲスト・ビジターへの声かけは限定的にする。
- ・ 卓話 神戸西クラブ 柳敏晴氏、謝礼 10,000円「YMCAとワイズ〜ウェルネスから〜」
- ・ 進行:石田・今田、聖書:杉谷、祈祷:吉田
- ・ 弁当:夏鈴@1300円、会費:(一律)1500円

3) 5月例会⇒5/13通常例会に変更、詳細別途。開催場所及び交流会の持ち方などに関して

- ・ 5月は移動例会とし、宝塚市文化芸術センター4/19Open「宝塚の祝祭」展、宝塚ホテル5/14Openの見学を兼ね5/23(土)に行く。詳細別途。
- ・ 4月例会が実施不可能な場合、5月は通常例会への切り換えも考慮する。

4) 2020/21年度クラブ役員・各委員会の役割分担若林次期会長から提案の通り承認した。

会長:若林、直前会長:多胡、副会長:福田宏子、書記:武田、会計:小林・吉田・堀江
Yサ:福田宏子・武田、CS:多胡・風早・青柳 EMC:鯖尻・若林、交流:石田・杉谷
ブリテン:長尾、福家、重松。NGO:鯖尻・福家・堀江、ジャガイモ:小林・西川
市民クリスマス:多胡・長尾・石田・若林メネット:福田素子・今田
連絡主事:谷川、監査:加藤、吉田

5) ロースターの名簿の修正 IBC…Yakima 削除。個人の部分修正。

6) 西日本区大会 6/13~14 について

- ・ 登録締切りは4月末に延期
- ・ 大津市民会館、びわ湖ホール、琵琶湖ホテル
- ・ 鹿児島クラブとの交流は懇親会にて行う
- ・ 宝塚は6/13(土)…日帰り参加
- ・ 10時 メネットアワー、12時 公開講演会 13時20分 西日本区大会 19~21時 懇親会
- ・ 参加予定:多胡、石田、若林、長尾、?? 4月例会時に最終確認。

7) 六甲部 CS 事業「キラリと輝くアート展」

- ・ 4月28日(火)~29日(水)
- ・ 兵庫県民アートギャラリー(栄光教会東隣)前準備・受付・後片付けにクラブから2~3名の応援が必要。

8) ブリテン編集

- ・ 寄稿分担 第1例会報告:多胡、第2:若林揚がれ 風早、神戸ポート:武田
Yニュース:谷川 など
- ・ 締切り 3/25 wataru-ys@outlook.jp まで。

9) 西日本区情報のまとめ

- ①BF 代表(ペルー・夫婦)受け入れ報告
- ②諸献金締切日変更 3/15⇒4/15 CS 献金は@1,500×21人とし。4月例会にて各人から徴収。Yサ@2,000×21人、TOF・RBMは昨年度に準じファンド会計から支出する。
- ③デンマークでの国際大会 Official Agent に Travel Five Japan が選出

10) 「らくらく連絡網」から「グーグル版」に変更 「らくらく…」を止め簡易な Google グループメーリングに切り換えることになった。

11) お誕生日プレゼント, お誕生日プレゼントとして従来の「ボールペン」に代えて

「National Pen・3機能付き」を購入した。Takarazuka Y's Men's Club を刻印・化粧ケース入り、60本15,592円を披露。

以 上

追 記: コロナ感染予防のため、宝塚市は4/19まで公民館を休館を決めた。従い、4月例会は中止、5月例会は移動例会を止め通常例会5/13に変更する。(5月例会の詳細は別途協議。)

書記 若林成幸



(宝塚ホテル開業時の階段の前での最後の役員会)

「きらりと輝くアート展」の中止のお知らせ

六甲部地域奉仕・環境事業主査 青柳美知子

4月28～29日に県民会館において開催予定の「きらりと輝くアート展」も昨今の世情により、3月末に中止の決定にいたりました。楽しみにして下さった出展者の皆様にもとても残念な気持ちですが、次年度の開催に託すことにします。

準備の段階において皆様に色々お世話になりました事本当にありがとうございました。

揚がれ希望の凧作り

3月3日、武田邸において凧作りをしました。作製した凧は、3月8日の「ラジオでウォーク」と、はんしん自立の家と共同実施の「被災地支援プログラウ揚がれ希望の凧プログラム」で揚げる予定でした。参加者は、多胡会長、武田、今田、石田、若林メネット、長尾、風早。

まずは、武田ワイズ作の美味しい昼食から。デザートまで付いている談笑しながらの昼食です。すでに1時間半が経過。何となく何かをやり遂げた気持ちを持ちつつ、本来の凧製作作業をスタート。風を受けるビニール部分に竹ひごの骨組みを取り付け、バランスを保つ足を付けたら完成。航空力学等々の高尚な議論をすり抜け、武田邸マンションのベランダにて、試し揚げ検査をクリアー。適材適所の役割分担をして大量生産体制に入りました。

新型コロナウイルス感染症への警戒からイベントは中止になってしまい、大空を舞う凧を見る事ができなかったのは残念でしたが、楽しい会話と作業でとても癒される時間となりました。



風早ひさお

神戸ポートクラブ例会

神戸YMCA 3月12日(木) 6時30分—8時まで、神戸ポートワイズの例会はメンバーの中山迅一さんがチェンジエージェントとして世界YMCA創立175周年を記念した集まりに参加したときの学びと課題について、映像を交えてお話があり、多胡会長と二人で参加してきました。世界42ヵ国121人のからイギリスのサウザンプトンYMCAに集合した若者たちが、世界の社会的課題についてグループで話し合い、課題への解決策の糸口を探り共感するなど、語学の壁を感

じながら学びをしたことが語られました。世界の在り方や、YMCAの方向性、課題へのアクションの起こし方、また夜はキャンプファイヤーを囲み親睦の時を楽しみローカルの問題をグローバルに考える貴重な体験だったと報告されました。

その後175周年の式典にも参加し、YMCの歴史に圧倒されたといいます。山中さんは若者の居場所づくりをお仕事にされているので、ローカルとグローバルの間にある隔たりや、日本における教育の変容の必要性などを感じた大会だったようです。おまけは12月に新婚旅行で行ったヨーロッパ各地の楽しい写真を拝見しました。

コロナウイルス感染懸念があり歌なし、席は間隔を取り、30分短縮といろいろな配慮された例会でした。



武田 寿子



YMCA だより

1. YMCA現況

2月末からの感染症防止対策のため、YMCAのすべての活動が大きく影響を受けています。

ウエルネス系、学校系、また野外活動やバスケット、スイミングなどの幼少年活動のすべてが休止となりました。一方、学童保育、保育系の活動はとにかく衛生管理をしながらも活動の継続、特に学童保育は3月は朝から夜までというフル回転が求められています。

3月16日からは、成人向けウエルネス活動のうち、クラスプログラムや人が集中するようなスペース以外での活動(フリーウエイトルーム・マシンルーム・エアロバイクなど有酸素マシン・プール・ラケットボールなど)は再開しています。

今後は、**感染症防止対策**を講じながらも、こうした状況下にある地域の方々向けの、ストレス軽減につながるような活動の展開が求められてくることだろうと推測します。この度のことでYMCAも大きく経済的にもですが、つながりを希薄化させる事態にならぬよう手立てを講じていきますが、こうした時だからこそワイズやボランティア、レイパーソンとの連携・協働が必要であると感じています。何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

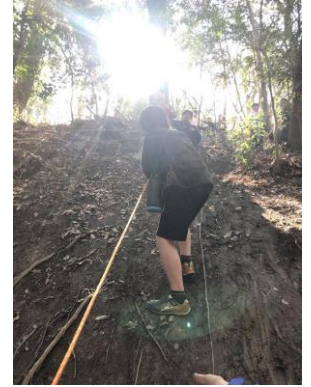


2. こうしたときだからこそ

保育、子育て中の方々の不安の中で、突然の休校で子ども、そして家庭保育で保護者のストレスも高い状況とあり、急遽ですが学園都市のYMCAでは「森あそび」を3月9日～13日の5日間実施しました。活動はすべて近隣の山で屋内を使わないことで感染症拡大にも留意しながらの活動でした。のべ小学生77名の参加でしたが、ボランティアリーダーやYMCAに普段来ている方々のご奉仕や地域の方々など77名が関わりながらの活動となりました。

また春休み期間は、いつもの余島キャンプなどは中止となりましたが、日帰りのデイキャンプ、ファミリープログラムなど屋外での活動を計画しています。こうしたときでありながらも、子どもの育ちをいかに守っていくべきかと考え、活動を続けてまいります。

…「神戸YMCAファミリーウェルネスセンター」のfacebookでは家庭でもできる運動についていくつか動画紹介しています。閉じこもりがちになってしまふときにお役立てください。



3. 節目の季節

節目のときである3月にこうした状況となっていることで、残念ながら通年のプログラムの中で今期終了の挨拶やリーダーとの別れの時を持ってなかった活動も多くありました。

保育園・幼稚園では保護者に感染症拡大防止対策にご協力をいただきながらも卒園式を無事に執り行うことができました。例年のような全園児での送り出しなどは控えたものの、それぞれの旅立ちに祈りをもって送り出す時間が取れたことを感謝しています。落ち着かない中の新年度準備をしながらの保育は続いています。YMCAにかかわったたくさんのいのちが光り輝くこと、お祈りします。



2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員	(委員長)	特別	(委員長)
Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	事業委員
地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎	NGO 連絡協議会
EMC	若林 成幸	鯖尻 佳子	じゃがいも
広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美	市民クリスマス
交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子	ス
			〃